

【活動トピックス】

【刈谷サイト環境美化活動】

10/28(金)にゴミ袋片手に本社付近の清掃を行いました。数年前参加したときと比べて、ゴミが大変少ない事に驚きました。



ゴミ拾いの様子

【アイシングループ各社のイベント】

秋は運動会などイベントの季節。社員と家族で楽しい時間を過ごしました。衣浦工場運動会は、雨天延期で社員食堂を会場とする苦労も。西尾・新豊工場の運動会、半田地区の芋掘り、アイシン高丘、アイシン・エーアイ祭りも工夫を凝らしたイベントが満載でした。



衣浦工場



AI-Aフェスティバル



新川工場餅つき

【子ども会相撲大会】

第40回目の子ども会伝統行事です。10/23(日)アイシン精機体育館にて行われました。21チーム、133名の参加。年々参加者が少なくなり寂しい気がします。来年は是非参加を！



アイシン相撲部 VS 子ども達

【刈谷市防災訓練】

12/10(土)刈谷市内で一斉に防災避難訓練が行われました。避難路での危険地域と防災倉庫内を確認。参加者は市の備蓄だけでは不十分であり、個人備蓄の必要性を認識した。



東刈谷小学校の防災倉庫内の確認

【野田八幡宮例祭 10/16】



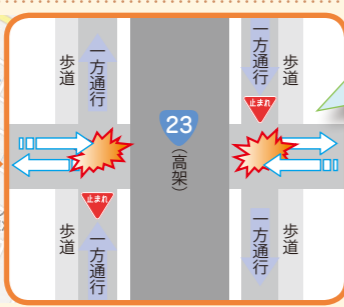
お旅神事での弓の様子

【野田地区芸能大会 11/20】



60組の参加で盛大に開催

【くらしの相談】



1. 松栄町-東刈谷沖野付近の交差点改善

【内容】松栄町3交差点と東刈谷南を結ぶ東西と23号線下の側道との交差点が大変危険。歩道からの自転車の確認もしづらい。

【回答】過去から危険地域として側道の止まれ表示など強化。信号設置も検討するが時間が掛かる。まず、東西方向の自動車に対して、カラー舗装などの減速を促す対応を至急実施す。

2. 刈谷市中央図書館の自習室について

【内容】土日利用の場合、満員で利用できない事が良くある。  
【回答】通常は6割程度の利用率。テスト週間は満員の場合がある。社会人用の専用エリアを紹介、併せて、図書館館長に利用実態の確認を依頼。場所取りなどを減らす様依頼しました。



中嶋よしゆき後援会  
〒448-0021 刈谷市八軒町2-75番地1  
TEL(0566)24-8831  
FAX(0566)24-1675

めざします！安全・安心・活気あふれる住みよい街、刈谷



刈谷市議会議員  
なか じま



中嶋よしゆき



後援会だより Vol.5

常任委員会：文教委員会  
刈谷市都市計画管理協会理事

発行日：平成24年1月吉日 / 発行所：中嶋よしゆき後援会 TEL(0566)24-8831

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、「中嶋よしゆき」後援会の諸活動に、多大なご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

昨年7月、皆様の応援をいただき初当選を果たしてから、はや半年が過ぎました。会社生活とは大きく違い戸惑いも多くありましたが、9月、12月の定例議会の中では、働く者、生活者の視点でお役に立てるよう微力ながら取り組んでまいりました。

昨年は、3月11日の東日本大震災、原発事故、台風12号、15号の豪雨。経済面では、異常な円高、欧州危機、さらにタイの洪水による生産停滞。これほど多くの事が起きた年は記憶にありません。私自身も被災地の復旧支援に向き改めて「刈谷近隣市が災害に強いまちづくり」「放射能などの市民不安を解消」「中小企業を中心に経済復興支援」「ものづくりと人づくり」が重要であると強く感じました。

今年は、その活動を継続・拡充していくことが市政の課題と捉えております。昨年からスタート致しました、刈谷市第7次総合計画の目指す都市像「人が輝く安心快適な産業文化都市」を方針に市民の皆様が「安全・安心・活気ある刈谷」を感じていただけるように、スピード感を持って改善に取り組んでいきたいと思っております。本年が皆様にとって、幸多き年となる事をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

市長へ会派要望書を提出

市民クラブ会派の7名にて、刈谷市政への要望書をまとめ、10月4日(火)に市長へ提出しました。大変厳しい経済環境の中、刈谷市財政力の硬直化が懸念される状況下であるが、将来を見据えた街づくり、人づくりの実現に向け、

1. 定住自立圏構想を視野にいれた橋梁・道路整備
  2. 工業誘致と住工混在の解消
  3. 保育事業充実などの次世代育成支援 など
- 85項目101点の要望を提出



竹中市長に要望書を提出

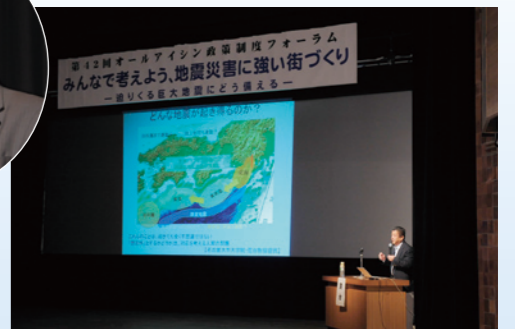
「地震災害に強い街づくり」フォーラムを開催

非営利特定活動法人レスキューストックヤード代表理事の栗田氏の基調講演、パネルディスカッションにて地震の発生メカニズム、近隣市の減災に向けた対策など、有意義な意見交換が行われました。栗田氏の現地での体験談では、災害の恐ろしさ、被災者の悲しみを感じたと共に、この思いを風化させてはならないと痛感しました。

日時：11月23日(水)場所：安城市文化センター



総司会を担当



第42回労使政策制度フォーラムの基調講演の様子



# 平成23年12月定例議会報告

# Reports

平成23年11月30日(水)～12月16日(水)までの17日間の会期で開催されました。

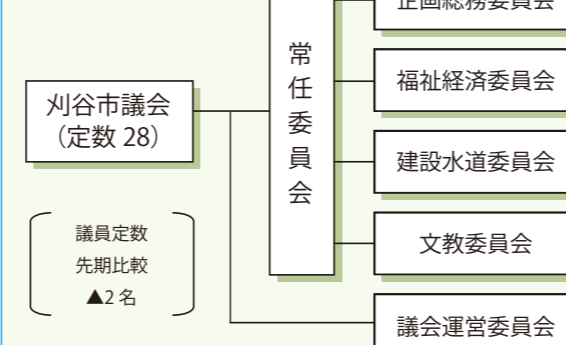
## 【議案等】

報告	同意	諮問	議案	認定	請願	陳情
1件	0件	0件	19件	0件	4件	4件

## □主な議案

- ・刈谷市事務分掌条例等の一部改正について  
⇒企画部職員課→総務部人事課、環境課→ごみ減量推進室など市民にわかり易い行政組織への提案
- ・指定管理者の指定について(刈谷市障害者支援センター)  
⇒医療法人成精会を継続、5,000件/年の相談、自立訓練提案
- ・平成23年度刈谷市一般会計補正予算  
⇒△315百万(人事院勧告の改定による職員人件費減など)

## 【刈谷市議会の構成】



## ■一般質問

政策経済	都市計画	災害原発	安全	福祉	教育	その他
8	5	7	3	9	1	6

今回は、15名の議員が一般質問に登壇しました。9月議会と同様に福祉・災害関係の質問が多くあり、時代を反映していると感じております。本議会の特徴的なのは、市の活性化を視野に入れた企業誘致など、将来の都市計画像についての質問も5件あり、将来に向けた経済環境の不安が如実に表れてます。

私も当選後、初の一般質問を行いました。選挙中にお話した、市民の「安全・安心・活気ある刈谷」づくりのために何が必要なのかを考え、ものづくりと人づくりを重点に行政へ訴えました。



初の一般質問の様子

件名	質問内容	答弁と行政への要求
◇大規模災害発生に対する危機管理について ・行政のBCP策定 ・地域産業のBCP策定 ・企業と行政と連携した危機管理(BCP：事業継続計画)	度重なる災害で企業はものづくりに支障をきたした。企業ではその経験を教訓に災害発生時、早期に事業が回復出来る様、事前にBCPを策定している。行政でも必要ではないか。また中小企業も策定が必要であり、行政として支援をどのように考えているか質問。	必要性を認識しており、来年度に取組む旨を答弁。また、既に中小企業向けにセミナーを既に開催しており、継続フォローを約束頂いた。また、トヨタ系関連企業と防災協定を締結、有事の対応について検討開始したとの回答。危機管理体制の強化を約束頂いた。
◇交通安全対策について ・市内危険箇所の認識とその対応 ・自転車交通総合対策への対応	交通事故死は減少しワースト1は返上。しかし、件数そのものは減少しておらず、事故リスクが減っていない事を訴求。事前に危険エリアの把握し、対策を講じるべきではないかと質問。また、自転車対策では、車道が原則に立ち返る。事故増加を懸念し、その対策について質問。	ドライブレコーダーで記録したデータを活用し「交通安全マップ」を作成配布との答弁。配布だけではなく活用促進の働きかけを要請。自転車対策では、特に子どもへの教育、また自転車道整備など総合対策を要請、来期策定と回答頂いた。
◇新学習指導要領「生きる力」を育む取り組みについて ・学力向上に向けた方策 ・豊かなこころを育む方策 ・体力向上プログラムの構築と実施	「生きる力」は社会で通用する、課題や環境変化に対応できる力と訴求。企業でも心身の病気で休業する社員が増加傾向の現状を捉え、学校教育の場で何を重要視した教育をしていくのか質問。また、教職員の指導力向上と児童生徒・保護者の心のケアについて質問。	生きる力とは、知徳体との考える。喫緊の課題は、知識技能の低下であり、習熟度別少人数学級、読解力向上に向けた取り組みを実施との答弁。心の相談は400名/年と多くあり、カウンセラーの充実を要請。

## ■請願・陳情について

- 【請願】 ○介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願・・・(不)  
○現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の充実を求める請願・・・(不)  
○国民健康保険税の引き下げを求める請願(他関連1件)・・・(不)
- 【陳情】 ○「子ども・子育て新システムに反対する意見書」提出を求める陳情・・・(不)  
○国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情(他関連2件)・・・下記

## ■文教委員会の報告

文教委員会へ付託されました下記陳情3件、議案1件について審議しました

- 【陳情】 1. 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情  
2. 県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情  
3. 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情

【結果】 陳情1、2については、教育の機会均等、公私間格差是正の必要性を認識し採択とした。  
3については、趣旨を理解した上で、刈谷は他市比較でトップであるため主旨採択とした

- 【議案】 1. 指定管理者の指定について(刈谷市体育館、刈谷球場、小垣江・井ヶ谷・港町グラウンド)  
刈谷市都市施設管理協会に継続委託する

【結果】 今までの管理実績、高齢者雇用等の観点より採択

文教委員会にて、議案への質問をしました

- グラウンド整備状況が充分でない為、車を使用した整備業務の追加を要求。安価でサービス向上を訴求
- グラウンド内の男女共同トイレの改善と熱中症対策の日よけ設備の設置について要請

## ■文教委員会視察の報告

【日程】 平成23年10月19日(水)～10月21日(金)

- 【視察先】 神奈川県横須賀市 「サポートティーチャーの活用による学力向上事業について」  
東京都小金井市 「学校給食食材の安全確保について」  
静岡県島田市 「環境調和型の学校施設と環境教育について」

### 【横須賀市】

サポートティーチャーとは・・・教員免許状を有する人を採用し、学校教育を補足的に実施する制度。

【成果】 授業中の学習意欲向上、学力補填。

【課題】 人材の確保、保護者の理解。



横須賀市役所

### 【小金井市】

給食の安全確保のため、チェルノブイリ事故以降、放射能測定を実施しており、刈谷市として参考となる活動。

【所感】 予約でいっぱいだが、保護者の安心には素晴らしい取り組み。国の指針、費用、運用について検討が必要。



検査装置

### 【島田市】

島田市第一中学校では、東海地震に備えた改築で、ユニバーサルデザイン、環境配慮の施設作りを目指した。校舎は出来る限り木材を使用し暖かみのある学校づくりに配慮。また約200tの雨水再利用施設など充実。



太陽光発電の電力モニター

木材を多様した校舎